

# 報 道 資 料

平成31年 2月 1日  
奈良県医療政策局  
医師・看護師確保対策室  
担当 古川  
ダイヤル 0742-27-8644  
内線 3191

## 県立医科大学に地域医療支援・教育学講座を設置します

県民が安心して医療サービスが受けるには、医療機関の役割は大変重要ですが、人口減少や高齢化が進む地域では、地域の医師の高齢化や診療所の廃業等により、医療体制の確保が困難となっています。

宇陀市立病院においても、内科系の医師の不足により、地域の救急患者や、在宅医療を受けられている患者のニーズに十分に対応できていません。

奈良県立医科大学（以下「県立医大」）では、宇陀市及び県との協議に基づき、①宇陀地域に今後必要となる医療提供体制の構築を支援するための研究、②診療に従事する若手医師や研修医の教育等を目的に、「地域医療支援・教育学講座」（寄附講座）を設置することといたしました。

県立医大内科学第三講座（消化器・内分泌代謝内科）が、寄附講座に【宇陀地域消化器疾患研究グループ】を設け、平成31年4月1日より具体的な支援をスタートすることとしています。

このような取組が必要な地域では、県立医大だけでなく、地域の自治体や医療機関が連携する必要があることから、県としても、県立医大や関連自治体等と協議しながら支援を行うこととしています。

### 記

1. 講座名 地域医療支援・教育学講座【宇陀地域 消化器疾患研究グループ】
2. 設置時期 平成31年4月1日 【2ヵ年を予定】
3. 寄附者 宇陀市
4. 取組概要 宇陀地域の高齢者を中心とした疾患（特に内科領域）の受療状況に基づく診療体制の確保に関する研究

[研究体制]

- 寄附講座が医師1名を宇陀市立病院に派遣し、診療を行う。
- 寄附講座内に医師1名を配置し、テーマに沿った研究を行うとともに、研究に必要な診療を行う。
- 寄附講座と宇陀市立病院が協力し、若手医師や研修医に地域医療を経験させるための指導を行う。

5. 取組の効果

- 東和医療圏における救急患者（主に軽症の内科系疾患）の円滑な受け入れ
- 急変時の患者受け入れ等、高齢化が進む開業医やへき地診療所に従事する医師に対する支援
- 在宅医療や軽症の救急患者の対応等、地域医療を経験する場を若手医師や研修医に提供
- 診療所や介護施設との連携による地域包括ケアシステム構築の支援

連 絡 先				
団 体 名		電 話 番 号		担 当
宇陀市	宇陀市立病院経営企画課	0745-82-0381		吉岡事務局長
奈良県	医師・看護師確保対策室	0742-27-8644	(直通)	古川補佐
		0742-22-1101	(内) 3191	
県立医大	研究推進課	0744-22-3051		福益課長